

平成 28 年度事務事業評価表(公共事業・継続)

No. 120

事務事業名	一般廃棄物最終処分場整備事業	
基本目標	050403	機能的で環境と調和したまち
政策		環境にやさしいまちづくり
施策		ごみの減量化と適正処理の推進
関連施策		

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	市民環境部		
課名	環境センター		
課長名	濱崎 賢二	内線	54-3100
担当者名	丸尾 直由	内線	54-3100

事業類型	7	施設等整備事業(負担金含む)
個別計画		
重点事業		

会計	一般会計		
款	04	衛生費	
項	02	清掃費	
目	02	塵芥処理費	
事業コード	060200	最終処分場建設事業	

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	埋立物(焼却灰、不燃残渣)		
意図 対象をどのような状態にしたいか	一般廃棄物最終処分場を整備することで、長期的に安定した埋立物の処理を行う。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	平成28年度中には既設の処分場がほぼ満杯になる予定であることから、新設の処分場の建設が必要となった。 ①建設工事 ②工事施工の監理		
事業期間	平成 25 年度 ~ 平成 28 年度	実施方法	直営、委託

成果指標名	最終処分場の埋立可能容量			算定式等	
着手前現状値	平成 24 年度	単位	m <sup>3</sup>		17,000
完了後計画値	平成 28 年度				48,000

【DO(実施)】

事業実施項目		25年度まで	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
基本計画	実績・計画額								
	項目別進捗率								
実施設計	実績・計画額	42,519	37,020	27,000	10,508				
	項目別進捗率								
用地・補償	実績・計画額	114,646	2,468						
	項目別進捗率								
建設工事	実績・計画額		86,600	501,332	1,080,008				
	項目別進捗率								
事務費等	実績・計画額	16	156	301	362				
	項目別進捗率								
合計	実績・計画額	157,181	126,244	528,633	1,090,878	0	0	0	
	項目別進捗率								

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	157,181	126,244	528,633	1,090,878	0	0	0	0
国庫支出金	124,697	39,422	169,110	297,465				
県支出金								
地方債	15,900	69,800	304,400	678,600				
その他								
一般財源	16,584	17,022	55,123	114,813				
② 人件費(千円)	9,030	16,778	10,290	10,501	事業内容	事業内容	事業内容	B/C
職員人数(人)	1.10	2.10	1.10	1.10				
時間外勤務(時間)	144	454	341	326				
嘱託等人数(人)			1.00	1.00				
フルコスト(①+②千円)	166,211	143,022	538,923	1,101,379				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組を しましたか(昨年度の【ACTION】の 改善・改革の進捗等)	建設工事・工事施工監理      平成27・28年度実施
事業が抱える問題・課題等	

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	市民生活及び事業活動により排出される一般廃棄物を焼却した際に、必然で発生する焼却灰、不燃残渣を埋め立てる場所の確保は、市の責務である。						
有効性	【緊急性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	平成28年度中には既設の処分場がほぼ満杯になる予定であり、平成28年度末までには新設の処分場を建設しなければならない。						
効率性	【施策成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	新たに一般廃棄物最終処分場を建設し、その後の15年間の処分を確保することで、生活環境に恵まれた都市が維持できる。また、最新の技術を導入した施設とすることで、既設の一般廃棄物最終処分場よりもさらに安全で安心な廃棄物及び浸出水の処理を行うことが可能となる。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	終了	
--------	----	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。